

団体名	刈谷市民会議 (写真提供：鈴木豊美、金岩 侑)
河川名	薬師川 1：川全体の変化状況及び浄化活動内容
地点名 (可能であれば)	刈谷市下重原町 3 丁目 1 2 0 番地付近



2005 年 4 月 23 日 川幅は広いが川底はヘドロでメタンガス等が発生し悪臭を放ち生物はいない



2011 年 11 月 26 日 有用微生物投入による浄化活動(毎月 1 回実施)、効果：ヘドロが砂地化



2023 年 7 月 28 日 ヘドロが砂地化し川の中に砂洲が出現して川幅を減らし、砂洲には雑草が繁茂するようになった



2021 年から冬になるとカモ類、さぎ類等が飛来し、休息したり、餌をついばんだりします、また、夏にはボラの子等もみられる

コメント：薬師川は愛知県知立市を源流として刈谷市を流れ（2級河川準用：刈谷市管理）、途中で下がり松川（2級河川：愛知県管理）と名前を変えて最後は猿渡川へ流れ込みます  
御多分に漏れずこの川も 2000 年頃には汚染が進み、川底にヘドロが堆積しメタンガス、硫化水素を発生させ、生物は全く姿を見せず、悪臭も漂い近所の人たちも近寄らない状態でした  
刈谷市民会議は何とかこれを改善していこうと試行錯誤の結果有用微生物を利用してヘドロを砂地化する取組みを初めました(取組内容等については“かりや衣浦つながるネット([genki365.net](http://genki365.net))”参照)  
この浄化活動を約 20 年間続けた結果、鳥類魚類等の生物も戻ってきて市民からも喜ばれている



団体名	刈谷市民会議	(写真提供：鈴木豊美)
河川名	薬師川 2：川底の変化状況詳細	
地点名(可能であれば)	刈谷市下重原町 3 丁目 1 2 0 番地付近	



2007 年 7 月 24 日 浄化活動開始前、川底はヘドロで真っ黒で絶えずメタンガス、硫化水素が絶えず発生していた。



2009 年 2 月 28 日 浄化活動 5 年後、川底に砂が現れてきたが、下流 10m 付近からはまだヘドロが残り黒かった



2023 年 7 月 16 日 浄化活動を約 20 年実施した結果 下流数百メートルにわたって砂地が現れた、但しまだヘドロが残っている場所がある

年

コメント： 浄化活動を約 20 年続けてきて砂地化も増えて改善は進んだが、一部でヘドロも残っている、また市民が気楽に近寄れる状態にはなっていない、今後もこの浄化活動を継続して市民から愛される川になることを目指していきたい

団体名	
河川名	
地点名(可能 であれば)	

年	年
年	年

コメント:
-------